

おかげ
さまで

日之影新聞

第5号

商店街から
こんにちはひのかげ
まちブラ散歩。

急峻なV字渓谷のまち日之影の、そのV字の底部を流れる五ヶ瀬川の兩岸の商店街にフォーカス。郵便局、旅館、温泉、スーパー、理容店、食堂そして町役場。ちょっと見渡しただけでもこのエリアにはいろいろとお店があるのがよくわかる。もっとよおく目を凝らせば、さらさらいろいろ見えてくることだろう。「繁華街」と呼ぶにはちょっと静かすぎる印象のあるこのエリアだけど、齢を重ねた玄人だからこそ醸し出すなんとも渋いオーラの個人商店がそこかしこにあることだけはどうかやらないな

さそ。さて今日は、この商店街を歩いてみたい。車だったら一瞬で通り過ぎてしまおうであろうこのストリートを、のんびり歩く速度でじっくり眺めてみたい。雄大な青雲橋の下で、あたたかも昭和にタイムスリップしたかのようなレトロさすら感じさせる閑静な（だがかつては活気に満ちていたであろう）この商店街エリアに飛び込んで、ここでお店を続けている人たちに会いに行きたい。ひっそりとした扉の向こうには、いい出会いが待っていてくれるのかもしれない。さあ歩こう、歩こう。このまちの深部に一步、踏み込もう！試されているのは僕らの方だ。





1



3



2



5



4

扉を 開けたら 笑顔が 待ってた。

【1】素敵な笑顔くれた「しまのや食堂」のお父さんとお母さん。【2】壁に掲げられた手書き文字のメニューがなんとも食欲をそそる。「豚血350円」「焼めし500円」にグッとくる。【3】手作り弁当と惣菜の店「まちなかのおかず屋さん」に、できたての肉だんごが並ぶ瞬間。ここで買い物したばかりの、この近くの建設現場で働くおじさんは「あつたかいお弁当が食べられて嬉しいよ」と嬉しそうに語ってくれた。【4】お客さんからの相談を聞いて「これはどう？」と後ろの棚から薬を選びお勧めしてくれる佐藤薬店の店主さん。このクラシックな販売スタイルには、お客さんとの信頼関係や思いやりがある。【5】「理容わたなべ」の午後。理髪店は髪を切るだけの場所にあらず。地元のおばさんたちが集いお茶飲みする憩いの空間でもあるのだ。



6



8



7



10



9

のれんの
向こうには
優しさが
あった。

【6・7】「大橋時計店」のおじさんは時計の修理中。若いころは高千穂町の時計店で修行して、やがて日之影支店に勤務し、その後に関いた自分のお店がこのお店。その物語の話しぶりも笑顔もとても優しかった。【8】釣具店なのに駄菓子も売っているというちょっと風変わりな「大橋釣具店」にやってきました子どもたち。お店に入ると向かいの「大橋時計店」のおじさんがとことこ歩いて来てくれる。大橋のおじさんは時計店をしながら釣具店兼駄菓子屋も経営しているのだ！【9】「高橋書店」の旦那さんと奥さん。日之影にも隣町にもたくさんのお客さんがいる、まちの元気な本屋さんなのだ。【10】日之影商店街の会長も務める、「日之影自動車整備」の社長さんは「地元で経済を回して、みんなが助け合う日之影町にしたい」と語ってくれた。



11



12



13



15

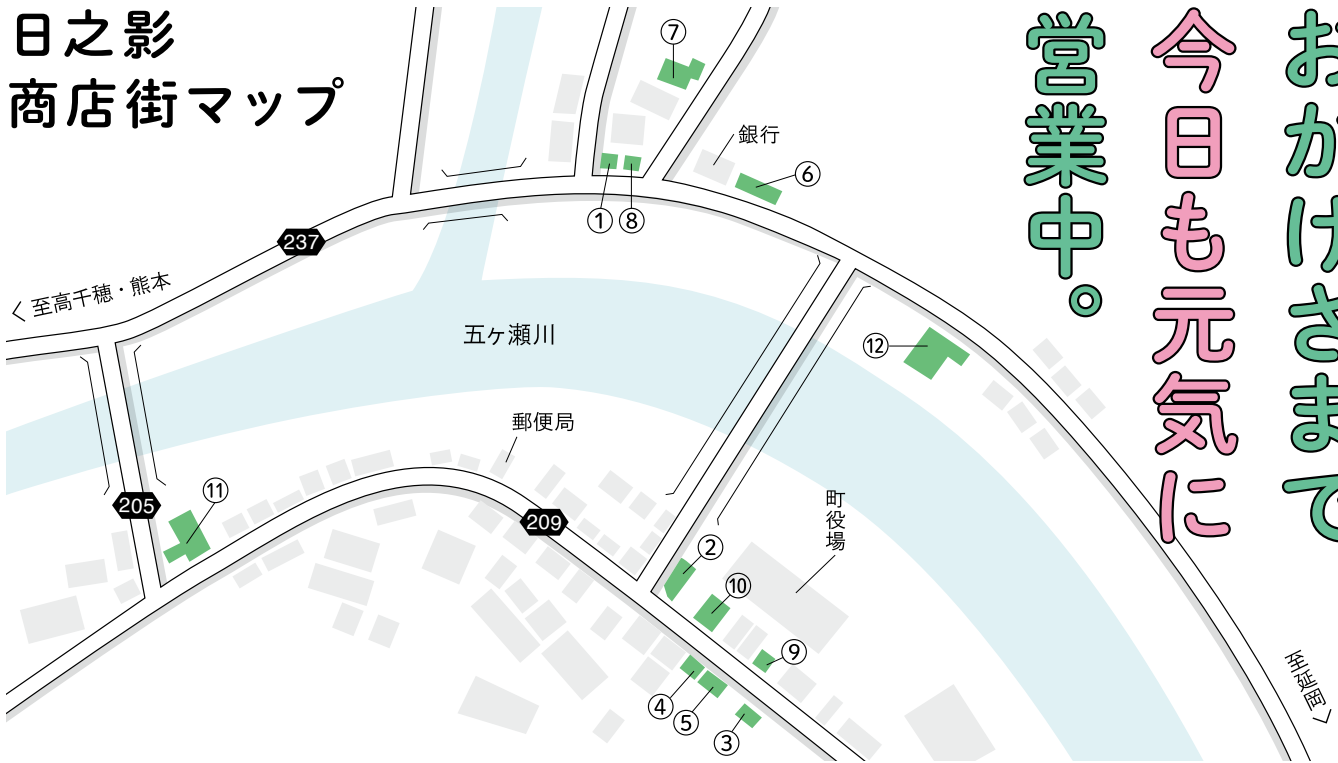


14

個性も
げんきも
溢れん
ばかり。

【11・12】今回の表紙にも登場している「福田酒造」の社長さん。酒造りをやめて、奥さんとふたりで味噌造りに精をだしている。「養仕込み味噌」を作っている甕を見せてくれた。【13】甲斐薬店で僕らを笑顔で迎えてくれた店主さんは、なんと91歳なのだという。え?、と目を丸くする僕らに「この高齢化している商店街のなかでも、私が多分最高齢よ」と笑ってくれた。【14】天保2年創業で現社長は7代目にもなるという老舗酒造店。「もっともっと全国に知られる焼酎にしていきたい」と意気込みを見せる。【15】居酒屋である「ひろせや」とバー「虹絵」のハイブリッド店舗を経営するマスターのアップ。虹絵とはつまり二次会。カラオケに酔いしれる町民の美声がいっつもここから日之影の夜空に響き渡る。

日之影 商店街マップ



おかげさまで
今日も元気に
営業中。



④ 佐藤薬店

祖父の代から続く創業70年の薬店の3代目店主は「お客さんがいつでも気軽に相談できる場であり続けたい」と言います。



③ 理容わたなべ

営業を始めて50年にもなるという、長い付き合いの人たちにとっては大切な憩いの場にもなっている、まちの理容店です。



② しまのや食堂

町役場から徒歩40秒、創業50年を誇る大衆食堂は約30ある豊富なメニューのほとんどが600円以下というリーズナブルさが見事です。



① まちなかのおかず屋さん

2017年9月オープン以来、小さい店舗面積ながら作りたての温かいお弁当やお惣菜が買えるとあって大人気です。



⑧ 甲斐薬店

3代に渡って受け継がれてきた薬局の店主は91歳。手の空いた時間には大好きなパッチワークに夢中になることが「ボケ防止になる」と笑顔です。



⑦ 福田酒造

かつては焼酎蔵、現在は酒飯店と手作り味噌のお店として奮闘中。夫婦で作る熟成味噌は、全国から注文が来る人気ぶりです。



⑥ 高橋書店

「地域文化に貢献する」という理念を掲げて奮闘しつづける、80年以上の歴史を誇るこのまちの本屋さんです。



⑤ 大橋時計店

店主は創業以来の50年を「人に恵まれ、商売的にもとても幸運な日々をこの町で過ごすことができた」と振り返りつつ、今日も営業中です。



⑫ ひろせや・虹絵

「一次会は居酒屋ひろせやで、二次会はバー虹絵で」という飲み会を1箇所ですべて可能にするハイブリッド居酒屋です。



⑪ 姫泉酒造

創業は天保2年。芋本来の旨味を感じさせる本格芋焼酎のほか、麦焼酎、もち米焼酎、そば焼酎などを作り続けています。



⑩ 日之影自動車整備工場

まちの人たちの暮らしに欠かせない自動車のあらゆるニーズを一手に引き受ける、活気あふれる自動車整備工場です。



⑨ 大橋釣具店

目の前に五ヶ瀬川が流れているのに釣具屋がなくなってしまうのは、と経営を日引き継いだのは大橋時計店のおじさん。駄菓子店でもあります。

使えるかなこの日之影方言教室

「ゴルフを始めました。」



講師：日之影町役場 甲斐 實奈子

「こいつ何年かで、ゴルフを習うてコースに出るこつなつたよ。昔はママさんバレーやらをしようたちゃけんどん、すね坊主がいとなつて、辞めたつよ。何か運動せにやいかんと思つて始めたつがゴルフよ。」

ゴルフはカートに乗るき運動にはならんと思ちよらせんけ？ そんげなこつねえちやが。そりや、球が飛ぶ、うまいもんの話。私しやよ、球を打つと、右せに行つたり、左せに行つたりするき、つうじさるかにやらんつよ。他のもんやら、後ろんもんに

迷惑かけんこつ、アイアンやらを3本〜5本ばかりもつて、つうじ行くつよ。冬でん、すぐ温もるばい。近頃は、ちいっただ直ぐ飛ぶこつなつてきたつよ。こないだも、ドライバーがまっすぐ飛んだき喜じ行つたら、こりがパンカーにいつちよつたつよ。がっかりしたけんどん、次、飛ばそうと思ち思いつりアイアンを振つたら、球には当たらず、砂に打ちくで手首損ねたわ。うまいといかんもんじや。今かりも頑張つて練習するばい。

〈歌〉
こいつ何年かで、ゴルフを習いコースに出るようになりました。以前はママさんバレーなどをしていたのですが、膝を痛めたものですからやめました。何か運動をしなければと思、始めたのがゴルフです。ゴルフはカートに乗るので運動にはならないと思つていませんか？ そうではありませんよ。それは、ボールが真直ぐ飛ぶ上手な方の話です。私が、ボールを打つと、右に左に飛ぶものですから、走つていかなくてはなりません。他の方や後から回られる方に迷惑をかけないように、アイアンを3〜5本位にぎつて、走つて行きます。冬でもすぐに温かくなります。最近では、少しは真直ぐ飛ぶようになつてきました。先日は、ドライバーで打つたら、真直ぐ飛んだので喜んでボールのところまで行つたら、残念ながらパンカーに入つていました。2打目で少しでも距離を稼ごうと思、アイアンを振つたらボールには当たらず、砂に打ち込んでしまい、手首を痛めてしまいました。上手くいかないものです。これからも頑張つて練習します。

活動報告 ヒノカフェ

町の新たな拠点づくりにむけて、ヒノカフェ実行委員、リサーチの旅へ！

ヒノカフェでは、みんなが気軽に集まれるコミュニティスペースとして、リアルな拠点づくりを計画しています。

今、候補に上がっているのが、役場至近にある空き店舗。「実際にどう活用していくか、どれくらい手入れが必要なのか、考えることはたくさんある！」ということで、地方のまちづくり拠点のあり方や運営の仕方を学ぶために、滋賀県まで視察に行つてきました。

視察当日は、全国的な大寒波で滋賀県も大雪。そんな中、僕たちが訪問してきたのは、町の人が気軽に利用できる、空き家を改修したキッチンとワークスペースのある施設や、古い蔵を改修して学生たちが運営するバーなど、2日間で3つの施設です。訪問先で感じたのは、何かをやろうと動き出したときにその活動が可視化されること。そして、まわりの人を巻き込みながら仲間をつくつていける拠点の存在が大事だということ。

今回、濃密な視察ができたことで、実行委員の中でも具体的なイメージが生まれてきました。これからどんな素敵な場所を生みだせるのか……乞うご期待ください！

(文・水井 歩/オズマビアーール)



発行：日之影町〒88210402 宮崎県西臼杵郡日之影町大字岩井川3339番地1 / ☎098218713900 代表：企画：株式会社オズマビアーール 編集：菅原良美 総務：阿部 莉子 & 写真：小坂橋基希 (akoni) / デザイン：難波知子 (akoni) / 取材・文：空豆みき (akoni) 一禁・無断転載 | @hinagata. All Rights Reserved.

今月のおかげさま



おかげさまで、移住してきて1年半が経ちました。

私は「緑のふるさと協力隊」の任期を終えた、一昨年に日之影町に移住してきました。みなさまの「おかげさまで、日々仕事として、やら細工の制作に携わらせていただいております。より多くの方にやら細工を手にとつてもらつたために、日々努力し、手を磨いていきたいと思つています。

ひろふみ (27歳)

おかげさまで、日之影。

活動報告 緑のふるさと協力隊が行く！

こんにちは！ 日之影町で「緑のふるさと協力隊」をしている穂です。2017年の4月から任んで、もうすぐ1年です。広大な平野に田んぼが広がる新潟で生まれ育つた僕にとっては、周りを山に囲まれ、坂道ばかりの日之影はまさに異世界でした。農作業や町のイベントのお手伝い、農村歌舞伎や神楽に参加させてもらうなど日之影ならではの生活をたっぷり堪能させてもらっています。

色々な活動の中でも僕が特に鮮明に覚えているのが炭出しです。窯から出されたばかりの真っ赤な炭に僕は釘付けでした。自然の中でこれほど美しい「赤」を見たのは初めてです。思いつくと炭の映像と共に蘇ってくるのは窯の前のたまらん熱さです。暑くて熱くて……けどほんとに美しかったなあ。忘れられない。また日之影の魅力、見つけたいこと。

